果樹９月下旬の巡回調査結果の概要について

このことについて、以下のとおりですので、病害虫防除指導の参考にしてください。

【東北信】　巡回日９月18、21、24、25、30日

１　りんご（東信３ほ場、北信８ほ場）

（１）斑点落葉病の新梢への発生は、東信１ほ場、北信２ほ場みられ、発病葉率は0.3～0.4％であった。

（２）シンクイムシ類の被害果はみられなかった。

（３）ハマキムシ類の被害果はみられなかった。

（４）ハダニ類は、リンゴハダニが東信２ほ場、北信４ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。またナミハダニは東信１ほ場、北信３ほ場で成若幼虫の寄生がみらた。いずれも発生量は少なく、最大でも10葉当たり４頭であった。

２　うめ（東信１ほ場、北信１ほ場）

アブラムシ類、クビアカツヤカミキリ、モモヒメヨコバイの発生はみられなかった。

【中南信】　巡回日９月24、29日

１　りんご（南信５ほ場、中信５ほ場）

（１）斑点落葉病の発生はみられなかった。

（２）シンクイムシ類、ハマキムシ類の被害果はみられなかった。

（３）ハダニ類は９月上旬にやや寄生量の多かったほ場も含め、ほとんど寄生がみられなかった。

（４）その他、褐斑病は９月上旬、全般に新梢葉での発病がほとんどみられなかったが、普通樹の枝葉が混みあっているところ、わい性台木樹の樹勢の弱い樹を主体に、部分的に黄変落葉のあるほ場があった。特に中信の１ほ場は目通りから上部で発生がやや多くみられた。

２　うめ（南信２ほ場）

アブラムシ類、クビアカツヤカミキリ、モモヒメヨコバイの発生はみられなかった。

【侵入警戒病害虫】

りんご調査ほ場において、火傷病、コドリンガの発生はいずれもみられなかった。